



巻頭 特集 食べて笑って、新年スタート!

池田の猪買い

はじめました

上方落語の舞台として登場し、「社会人落語日本一決定戦」の開催地でもあるなど、落語との縁が深い池田市。新年にもびっぴたりな、落語のまじりならではのグルメイベントが現在開催中だ。



落語 池田の猪買い

冬のある日、甚兵衛さんのもとへ体の冷えに悩む男、喜六が相談にやってきました。冷えには新鮮な猪の肉がよい。池田の猪撃ち名人・大太夫さんを訪ねなさい」と甚兵衛さん。翌日出発した喜六は行く先々て人を困らせてついに池田に到着。大太夫さんに「新しい猪を撃つてくれ」と頼み込む。決つていた大太夫さんもついに折れ、ふたりは豚に出かけるが…



「美味しく食べてもらいたし」仕入れは全国有数の名産地から

「酢猪」肉の下味に「呉春」、タレに梅酒「水月」と地酒を使って池田らしく!

「美味・滋味

自然の野山をかけた回って暮らし、秋冬には寒さに備えて脂肪をたつぷり蓄える猪。そのため、コクがあるのにくどさのない脂と、引き締まって味の濃い赤身が得意。ポングリや、冬に体を温め滋養をつける名目で食べられていた。

「栄養豊富

豚肉に比べて低カロリーで低コレステロール。ビタミンB群が豊富で、良質のタンパク質を含んでいる。獣肉食が禁じられていた江戸時代でも猪肉は山椒や薬食いと呼ばれ、冬に体を温め滋養をつける名目で食べられていた。

「冬季限定

猪に限らず、狩猟期間は冬の数カ月間のみと定められている。冷凍肉をうまく活用したり、燻製にしたりと工夫して猪肉を年中食べられる店舗もあるが、旬の猪肉を食べたいなら冬がおすすすめ。

①「猪カツレツ」

薄切り肉をミルフィーユのように重ねて出す。歯切れのよさがこだわりです。



調理師 ひら川 平川 千 さん

同イベントの事務局を務める「いけだサンシー株式会社」の藤井さんは「2012年の第1回から始めて今年で7回目。今では『今年はまだなの?』という問い合わせをいただくようになってきました」と話す。珍しい料理が地元で食べられると、毎年の楽しみにしている人も多いそうだ。



中国麺師 丸一食堂 増田 航 さん

独自に仕入れる店舗もあるが、どの店舗も「美味しい猪肉料理を味わってほしい」という思いで吟味し、メニューを仕上げています。生産が安定している豚と違って野生の猪は個体差が大きく、肉処理の手間がかかるため、仕入れ値の相場は豚肉の数倍だ。しかし値段設定はあくまで控えめ、「期間限定のイベントなので、これをきっかけにお店を知ってもらいたい。どこも採算は度外視だと思えます」と内藤さんは言う。

②「猪肉のピザトースト」

3時間かけて薄切り肉を甘辛くじっくり煮込みました。ナポリソースがポイント



カフェルージュ 大下 清子 さん

「猪肉×○○」が楽しい 落語がヒントのグルメイベント

2007年、「上方落語資料展示館(落語みゆーじあむ)」の開催をきっかけに誕生した「おたなKAWAII」。池田市の商店・飲食店が落語とコラボし、落語のまち・池田のブランド化をすすめる企画だ。落語の演目から発想した商品の販売やイベントなどの活動を続け、現在60店舗以上が参加中。そして今年も11月29日から、飲食店の有志12店舗によるグルメイベント「池田の猪買い」をはじめました(以下、同イベントが始まりました)。

「池田の猪買い」は上方落語の中で旅ネタと呼ばれる演目のひとつ。体の冷えを治したい男が新鮮な猪肉を求めて、大阪の中心地から池田へ旅をする。同イベントではこれにちなみ、各店舗が猪肉を使った期間限定メニューを提供。発起人である「おやじカレー」の店主、内藤正晴さんは「数ある『当地グルメ』の中でも、素材が同じでメニューは自由というものは珍しいんじゃないでしょうか」と話す。定番の鍋物から和・洋・中とさまざまな、食べ比べが楽しい内容だ。



おやじカレー 店主 内藤正晴 さん 「猪の脂は体に残る感じがしなくて、食べると温まってきますよ」と内藤さん。「猪三カレー」を手早く調理していく

料理でお腹を満たしたら 落語の文化に触れてみよう

「池田の猪買い」を軸に地域の飲食店をつなげようとして生まれた同イベントの開催期間は2月28日(木)まで。参加店舗で使える割引券が当たる、はずれなしのスタンプラリーも同時開催しており、何度も訪れればさらに楽しい。

そしてぜひ足を伸ばしてほしいのが、阪急「池田駅」から徒歩7分ほどにある「上方落語資料展示館(落語みゆーじあむ)」だ。1階には池田が舞台となる落語の展示コーナーがあり、「池田の猪買い」を映像で紹介。また2階の視聴コーナーではさまざまな落語の演目をDVDやCDで視聴できる。数々の名人による「池田の猪買い」を聴き比べてみては。

同イベントの目標として、「今年のにぎわいを近隣の店舗に見てもらい、来年以降は参加店舗がさらに増えればと思います。落語のまちをもっと盛り上げたい」と藤井さん。あと数日で2019年、亥年。落語と猪料理で心と体を温めて、元気に冬を乗り越えよう。

取材協力

- 「池田の猪買い」をはじめました〜
TEL: 072-751-5591(いけだサンシー株式会社)
URL: http://www.i3c.jp/otana
- 上方落語資料展示館(落語みゆーじあむ)
住所: 池田市栄本町 7-3
TEL: 072-753-4440
料金: 入館無料
営業: 11:00~19:00
※イベント開催時は入館制限を行う場合あり
休日: 火、年末年始

参加店舗やメニューの詳細は次ページから!